



取材、編集にデータベース活用 vol.43

伊豆新聞本社 新聞記事検索システムの導入事例

伊豆新聞社は静新SBSグループに属し、伊東市から下田・賀茂にかけての伊豆東海岸で「伊豆新聞」を、熱海市内で「熱海新聞」を、三島・田方で「伊豆日日新聞」を発行しています。地域密着のきめ細かな取材、編集が特色です。

取材先の情報を事前に研究

「静岡新聞データベースplus日経テレコン」では伊豆新聞の記事も検索できます。そこ



データベースの情報を活用して取材する
北島記者

には長年にわたり先輩たちが積み重ねてきた「情報」があります。

「分からないことはなんでも聞く」ことが取材の基本です。しかしそれにも限度があります。例えば伊東市出身の作家木下柰太郎に関する取材をする際、柰太郎について基礎的な質問をしては相手にあきれられてしまいます。重要なことは事前準備です。先輩の書いた記事を読み、取材のために必要な知識を仕込みます。

書き方も参考になります。先輩の記事だけでなく、同じものを取材した静岡新聞の記事や日本経済新聞の記事にも目を通します。自分が書いた記事と読み比べることで「こう書くべきだった」「この書き方は次回の参考に」などと、大変勉強になっています。

編集局 取材部 北島彰浩

他市町の情報をリアルタイムに入手

国内外の経済情報から県内の政治、経済、社会、スポーツ、カルチャーなどあらゆるジャンルを網羅した「静岡新聞データベースplus日経テレコン」は、伊豆の情報に特化した弊紙にとって、県や他市町などの現状を知る上でとても役に立っています。新鮮な情報が入り、また紙媒体と違いページをめくって探す手間がいらず、スピーディーに活用することができます。

また、洗練された記事は、若手記者の“手本”



企画書作成にデータベースを活用する土屋記者

伊豆の観光情報サイト「イズハピ」は、「Discover IZU」をテーマに、地域に根差した取材力、情報量を基に、まだ見ぬ伊豆の素晴らしい魅力を全国へ発信しています。

イベント情報をはじめ、グルメ、温泉、レジャー、イズハピ動画など旬の伊豆を満喫できる情報が満載です。「伊豆イチゴ狩り特集」「伊豆パワースポットめぐり」など季節の特集もありますので、ぜひ参考にして伊豆へお出かけください。

にもなっています。記者には簡潔で濃密、平明な記事を書くことが求められます。新聞データベースを利用して、さまざまな事象での文章の組み立て方、言葉の選び方、言い回し表現などを学んでいます。企画書や報告書を作成するときにも間に合っています。

弊紙の記事も「静岡新聞データベースplus日経テレコン」で配信されています。利用される方に分かりやすく、役立つ、楽しい伊豆の情報を届けていきたいと思っています。

熱海新聞 取材部 土屋春菜

私たちの仕事 Our work



たかせ なおき
高瀬 直樹 社長

地方で市と町だけを取材していても行政の全体像はつかめません。例えば介護保険制度を取り上げるとします。保険の運営主体は間違いなく市や町ですが、市と町を見ても制度の行方はさっぱり分かりません。

県内外の動向に目を向けて

高齢化の進行と給付費の増加を考えると保険料負担はもっと増えるでしょう。厚労省はますます財政の苦しくなる介護保険制度をどこに持っていかようとしているのでしょうか。施設介護より在宅重視というなら報酬の配分をどう変えるのでしょうか。静岡県の指導方針は？ほかの市町の動向は？サービスを提供する事業者の対応は？四方八方にアンテナを向けている必要があります。

介護に限らず、政治、経済、社会の各分野の最新動向を幅広くカバーするデータベースはローカル紙づくりの心強い味方です。

【当サービスのご利用について】静岡新聞データベースplus日経テレコンは、インターネットを通じて提供する有料・会員制のサービスです。サービスご利用には、契約お申し込みが必要です。【利用料金】サービスご利用には、ご契約の当初料金、月額基本料金のほかご契約プランによっては、検索・出力した利用に応じた情報利用料金がかかります。

地元密着の静岡新聞、国内外の経済情報を網羅する日本経済新聞の情報を同時に検索

静岡新聞データベース + 日経テレコン

■お問い合わせ 静岡新聞社 総合メディア局 TEL 054-284-9187 (平日 9:00~18:00)

静岡新聞データベース 日経

検索

<http://www3.shizushin.com/dbplus/>

静岡新聞 + 日経テレコン